



宣教協議会プログラム

一昨年、全国の教会、関連施設・団体、教区、管区諸委員会にアンケートを配布し、2012年以降にそれぞれの場で取り組んでこられた働きについてお聞きしました。

「み言葉に聴き、伝えること」「世界、社会の必要に応え仕えること」「生活の中で福音を具体的に証しすること」「祈り、礼拝すること」「主にある交わり、共同体となること」「教会の5要素」から

それらを見える形で宣教協議会に持ち寄ってみようという意図から、各教区・教会等による「実り持ち寄りブース」が計画され、11月に清里に集まる参加者の皆さんを通じて準備をお願いしています。ローカルに立つ教会の、今あるものを集合させることによつて見えてくるものは何でしょうか。今回の宣教協議会はそのから出発となります。

信徒数の少ない教会の話を聴くプログラム「私たちのあゆみ」物語を聴くも予定されています。沖縄県の屋我地聖ルカ教会、長崎県の厳原聖ヨハネ教会、秋田県の大館聖パウロ教会がご協力くださることにになりました。

昨年開催された「ぶどうの枝協議会」では、宣教協議会で、地域や社会で出会う人と共に歩み、生きる働きに焦点を当てることが提案されました。プログラムとしてどのように考えられるか検討を重ねた結果、「命の現場から聴く」パネルディスカッションと分科会が計画されています。パネリストの紹介は宣教協議会プログラムの「管区事務所だより4月号」から見る事ができます。3月〜5月には、祈禱書改正委員会、女性デスク・ジェンダープロジェクト、主教会と「ぶどうの枝分科会」を開きました。日本聖公会の取り組み

や課題に目を向け、変革への展望と未来を見据えるためのプログラムは宣教協議会のもう一つの柱となります。これは現在、実行委員会で詰められています。

「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながってれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もできないからである。」

宣教協議会主題聖句(ヨハネによる福音書15章5節)

いつも私たちの真ん中に「ぶどうの木」であるイエス様を見つめながら、11月に向けての準備の過程が、皆さまと共に歩む宣教協議会、清里への道のりとなるようにと願っています。

福澤 眞紀子
2023 宣教協議会
実行委員

日本聖公会神戸教区聖職候補生養成委員会 召命研修会

神戸教区聖職候補生養成委員会では、主に修道会や祈りの家などで開催されてきた、これまでの召命黙想会に代わる企画として、今年は『召命研修会』を企画しております。

召命黙想会という、将来、聖職および伝道師を目指したいと思う人や関心のある人が対象となっておりますが、その対象を広げて、主なる神様につながり、神戸教区につながり、教会につながる私たちが共に集う機会がこの度の企画です。その中で、参加された方々が、自身の召命(神様からの呼びかけ)を思い巡らし、改めて神様との交わり、人との交わりを喜べる機会となることを期待しています。

この度は、神戸教区の幾つかの教会、教区主事、ウイリアムス神学館館長を歴任され、その後、日本聖公会東北教区の主教としてご自身を献げられた、ヨハネ 吉田雅人 主教をゲストスピーカーとしてお招きし、お話を伺います。また、久しぶりに各教会から集まれる機会ですので、色んな方々との出会いや再会、また親睦の機会となることも期待しています。

日時 2023年9月18日(月・祝) 9:30受付開始(10:30~16:30)

場所 日本聖公会神戸聖ミカエル大聖堂

講師 ヨハネ 吉田雅人 主教(日本聖公会 前東北教区主教)

テーマ 『皆それぞれ応えあおう。神様に結ばれた者だから』

対象 日本聖公会神戸教区につながる皆様 **参加費** 無料

申込締切 2023年8月19日(土) **お問い合わせ** 司祭 長田吉史(聖職候補生養成委員)